

平成23年度 農地整備学 期末試験問題

担当：九鬼康彰（農村計画学分野）

問題は5題、最後にアンケートが1問あります。問題用紙の他に解答用紙（5枚綴り）、別添資料の3点で構成されています。解答用紙には必ず、問題番号を各解答の最初に明記すること。なお、問題ごとに解答用紙を替える必要はありません。

1. 水田の圃場整備を行うにあたり、図1に示すような区画計画を策定する必要がある。この区画計画の考え方について、考慮すべき条件をあげながら分かりやすく説明しなさい。



図1 大区画水田と中小区画水田の配置図
(農業土木学会：土地改良事業計画設計基準計画ほ場整備(水田)，2001)

2. 次ページに示す図2は、傾斜地地域において長方形区画で整備を行った場合に生じる段差を表したものである。この図から傾斜地での農地保全を実現する上で留意しなければならないポイントを指摘し、その対策について詳しく説明しなさい。